

2004年2月2日

各 位

エルエヌジージャパン株式会社
ニチメン・日商岩井ホールディングス株式会社

エルエヌジージャパン、
インドネシア・タンゲーLNGプロジェクトの追加権益取得

エルエヌジージャパン株式会社（本社：東京都港区六本木、代表者：米澤健一、日商岩井株式会社、住友商事株式会社各50%出資）は、100%子会社である Indonesia Natural Gas Resources Muturi, Inc.（ケイマン法人）を通じて、英国 BG International Limited（以下BG社）が売却するムツリ鉱区権益の50%に対して先買権を行使し、2004年1月30日にBG社との間で29.23%の権益購入に関する売買契約（購入金額：約US\$137百万（約150億円））を締結致しました。残りの20.77%については、同じく先買権を行使した CNOOC Muturi, Limited（中国 China National Offshore Oil Corp.の100%子会社）が同日付でBG社と売買契約を締結しております。両契約は、インドネシア政府およびプロジェクトパートナーを含む関係者の承認取得をもって発効致します。

エルエヌジージャパンは、今回の追加権益取得により、ムツリ鉱区の権益をこれまでの5%から34.23%に拡大するとともに、タンゲーLNGプロジェクト（ムツリ、ベラウ、ウィリアガール3鉱区から構成）全体の権益比率を1.07%から7.35%に拡大することになります。

2001年10月に事業を開始したエルエヌジージャパンにとって、今回の権益拡大は、インドネシアをはじめとするLNGビジネスにおけるこれまでの地位を更に強固なものにし、長期的な収益基盤の構築に貢献するものであります。

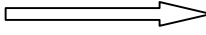
ムツリ鉱区権益比率

(現状)

BG	50%
CNOOC	44%
LNG ジャパン	5%
BP	1%

(取得後)

CNOOC	64.77%
LNG ジャパン	34.23%
BP	1%

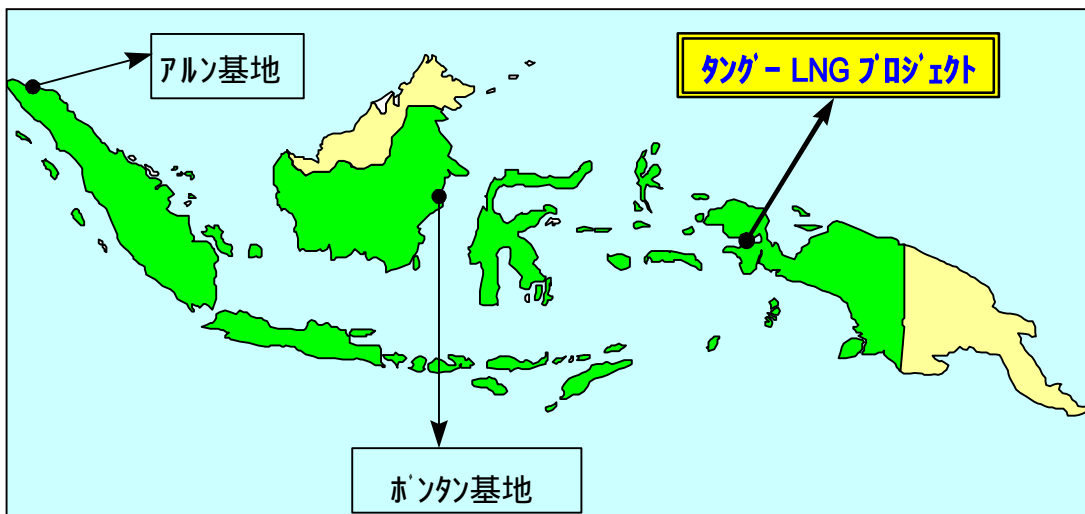


事業概要

取得資産	タンゲーLNGプロジェクト ムツリ鉱区
取得額	US\$137百万(150億円)
全体確認埋蔵量	14.4兆立方フィート
生産数量予定	年間700~800万ト(2トレーンベース)
生産開始予定	2007年7月

インドネシアは、アルンおよびボンタンに続くインドネシア第3のLNGセンターとして西パプア州のタンゲー液化天然ガス開発プロジェクトを計画しています。3鉱区(ムツリ、ベラウ、ウィリアガール)合計で14.4兆立方フィートの確認埋蔵量が発見されており、2007年のLNG生産・販売開始に向けて日本をはじめとしたLNG需要家に対して販売活動を実施しています。現在エルエヌジー・ジャパンは、日本におけるインドネシアLNG輸入量の約85%を扱っています。

インドネシアのLNGプロジェクト



【本件に関する問い合わせ】

エルエヌジー・ジャパン株式会社 タンゲー開発室 木村

03 - 6229 - 3442